
kuji

第2章

環境の現状と課題

- 1 市の概要
- 2 生活
- 3 生き物
- 4 自然
- 5 廃棄物等
- 6 参加・協働

1 市の概要

(1) 位置

● 概況

岩手県における位置

久慈市の位置

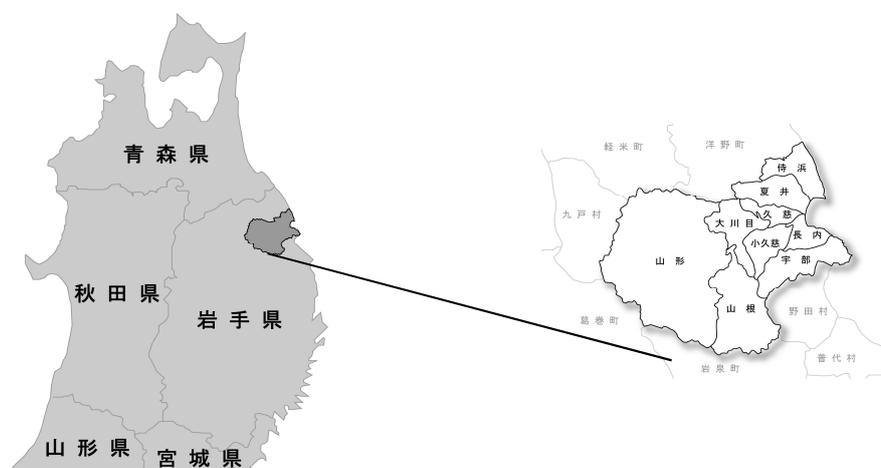
東経 141° 27' ~141° 52'

北緯 40° 00' ~40° 17'

東西 35.80km

南北 32.06km

面積 623.50km²

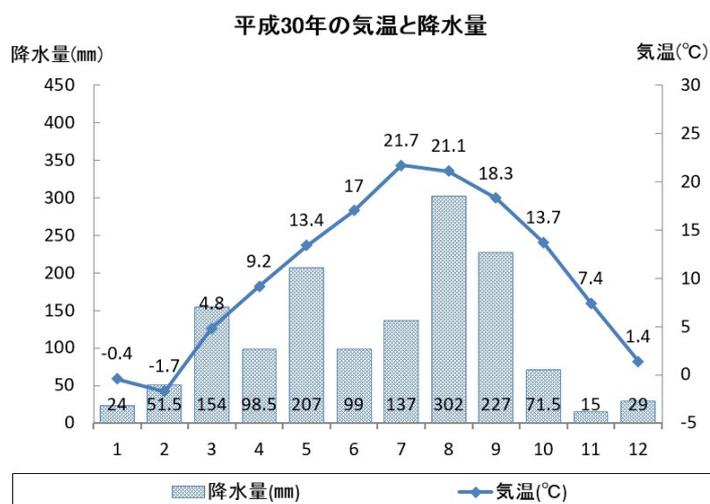


(2) 気象

● 概況

気温と降水量

年平均気温は 10.5℃ と平年より高め、年間降水量も 1415.5mm と平年より多い年となりました。



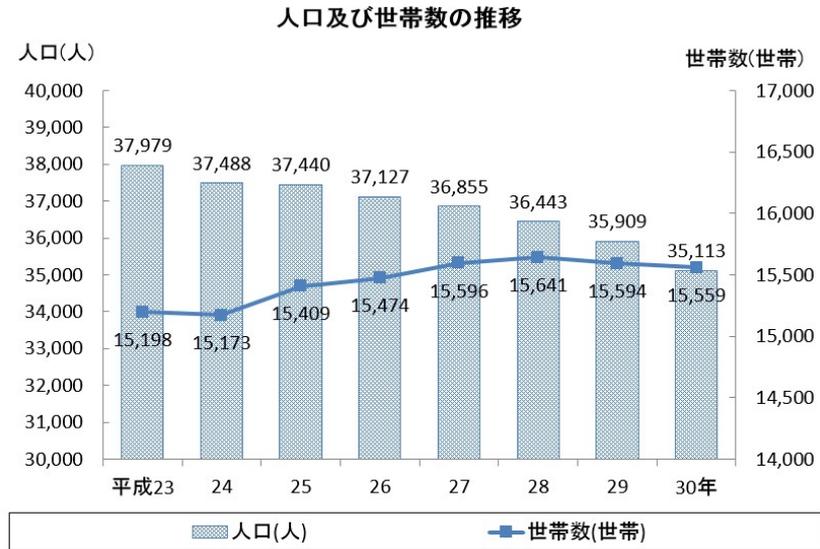
資料: 気象台

(3) 人口

● 概況 ●

人口・世帯数

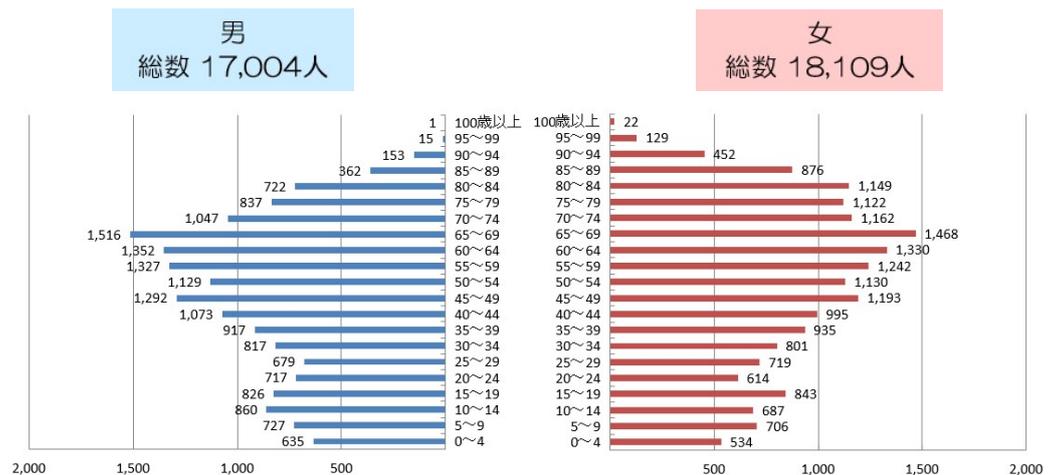
市の人口は 35,113 人で前年より 796 人減少し、世帯数も 36 世帯減少し、15,559 世帯となりました。



資料: 市民課(久慈市統計書) 各年4月1日現在
 注) 平成 25 年度より人口及び世帯数に外国人住民を含んでおります。

年齢別人口

総人口に占める年少(0~14 歳)人口の割合は約 11.8%で、生産年齢(15~64 歳)人口の割合は約 56.8%、老年(65 歳以上)人口は約 31.4%となっています。



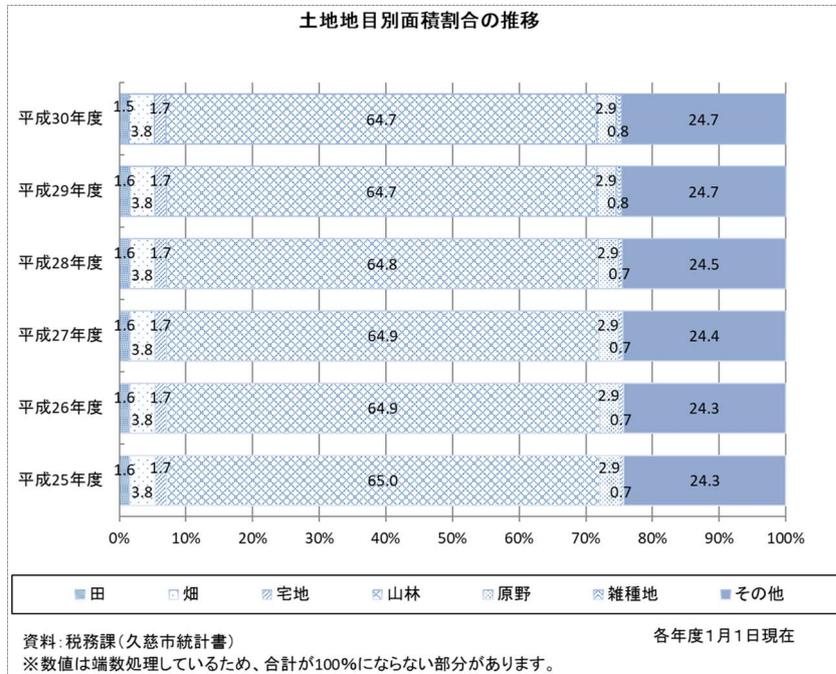
平成 30 年 4 月 1 日現在

(4) 土地利用

概況

土地利用面積

本市の平成 30 年 1 月 1 日現在における土地地目別面積の割合は、山林が 64.7%、その他が 24.7%、原野が 2.9%となっており、市域に占める自然的土地利用の割合が9割以上となっています。



用途地域等指定状況

本市の都市計画区域[※]は、隣接する野田村と一体となって指定されています。また、用途地域は、久慈地区、長内地区を中心に約 790ha が指定されています。

区 分	面 積
都市計画区域	約 4,584
用途地域別	約 790
第 1 種低層住居専用地域	約 150
第 1 種中高層住居専用地域	約 70
第 2 種中高層住居専用地域	約 32
第 1 種住居地域	約 302
第 2 種住居地域	約 16
近隣商業地域	約 28
商業地域	約 49
準工業地域	約 33
工業地域	約 89
工業専用地域	約 23
その他の主な地域(地区街区含む)	約 197
準防火地域	約 80
臨港地区	約 117

資料: 都市計画課

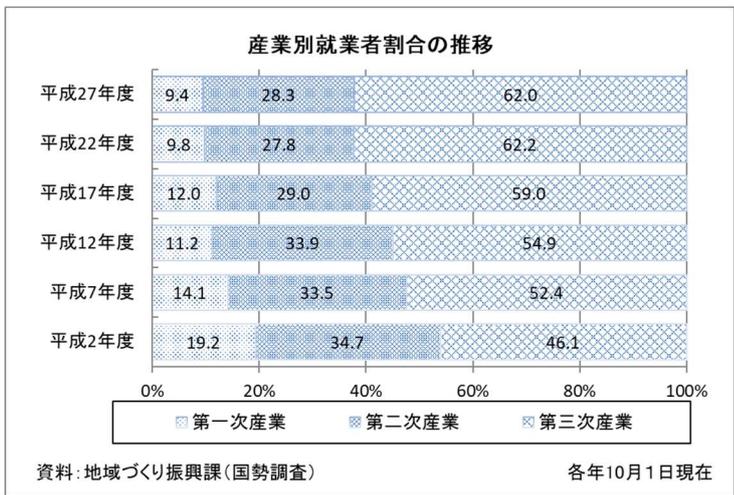
注) 単位未満四捨五入のため、総数と内訳が合わない場合があります。

(5) 産業構造

● 概況 ●

産業別就業者数割合

本市の平成 27 年 10 月 1 日現在における産業別就業者数の割合は、第一次産業が 9.4%、第二次産業が 28.3%、第三次産業が 62.0%です。年々、第一次産業就業者率が減少しています。



注) 数値は分類不能の産業を含んでおりません。

(6) 交通

● 概況 ●

道路

本市の主要な幹線道路は、一般国道 45 号、281 号、395 号があります。一般国道 45 号から接続する八戸・久慈自動車道は、一部が供用されています。

鉄道

本市の鉄道は、JR 八戸線と三陸鉄道北リアス線があり、市民の通勤・通学の主要な交通機関となっています。



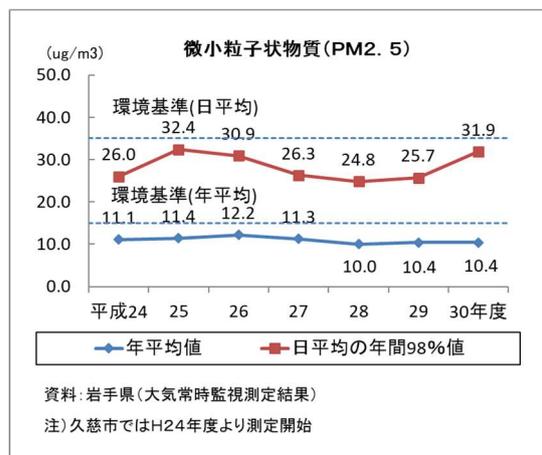
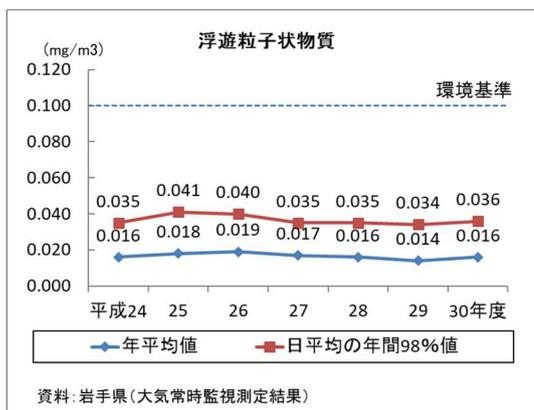
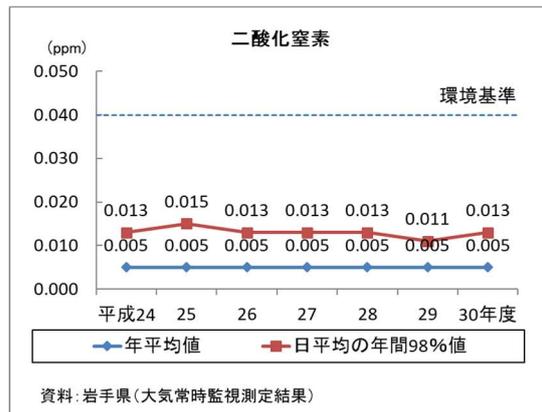
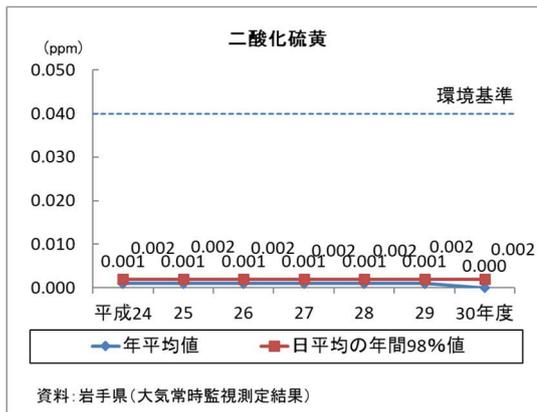
2 生活

(1) 大気

● 現況 ●

大気の状態

市内八日町に一般環境大気測定局*が置かれ、岩手県が常時監視を行っておりますが、測定結果は二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、微小粒子状物質（PM2.5）の全測定項目で環境基準を達成しています。



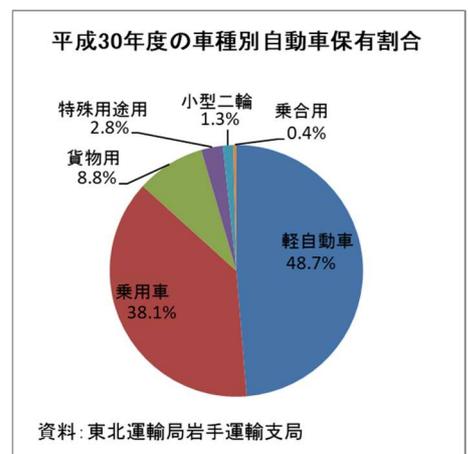
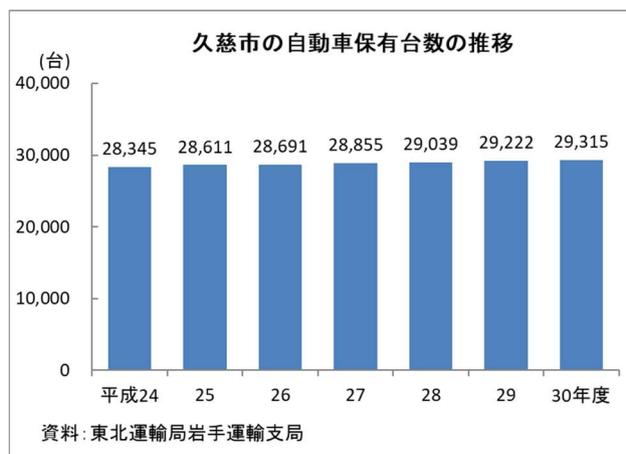
大気環境への負荷

【自動車】

市内の自動車の保有台数は、年々増加しており、また、車種では48.7%が軽自動車、38.1%が乗用自動車となっています。

自動車は、走行中のほか渋滞や信号待ち、駐車中等のアイドリングによる大気汚染物質の発生源となるため問題となっています。

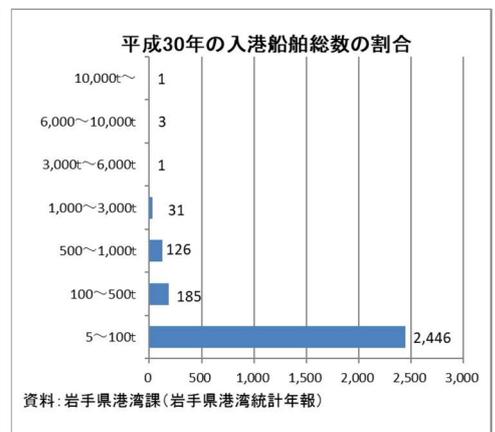
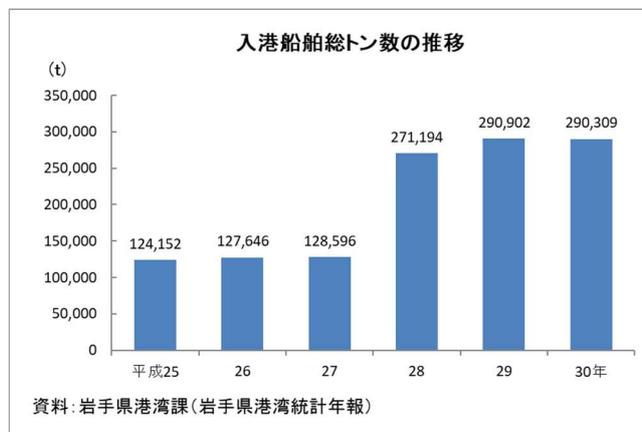
そのため、アイドリングストップ※や低公害車※の利用促進等をさらに推進していかねばなりません。



【船 舶】

平成30年久慈港の入港船舶総トン数は、平成29年と比べて約0.2%減の290,309トンとなっています。

入港船舶の総数は2,793隻となり、5総トン以上100総トン未満の船舶が2,446隻(約87.6%)と最も多く、次いで100総トン以上500総トン未満の船舶が185隻(約6.6%)となっています。



(2) 水質

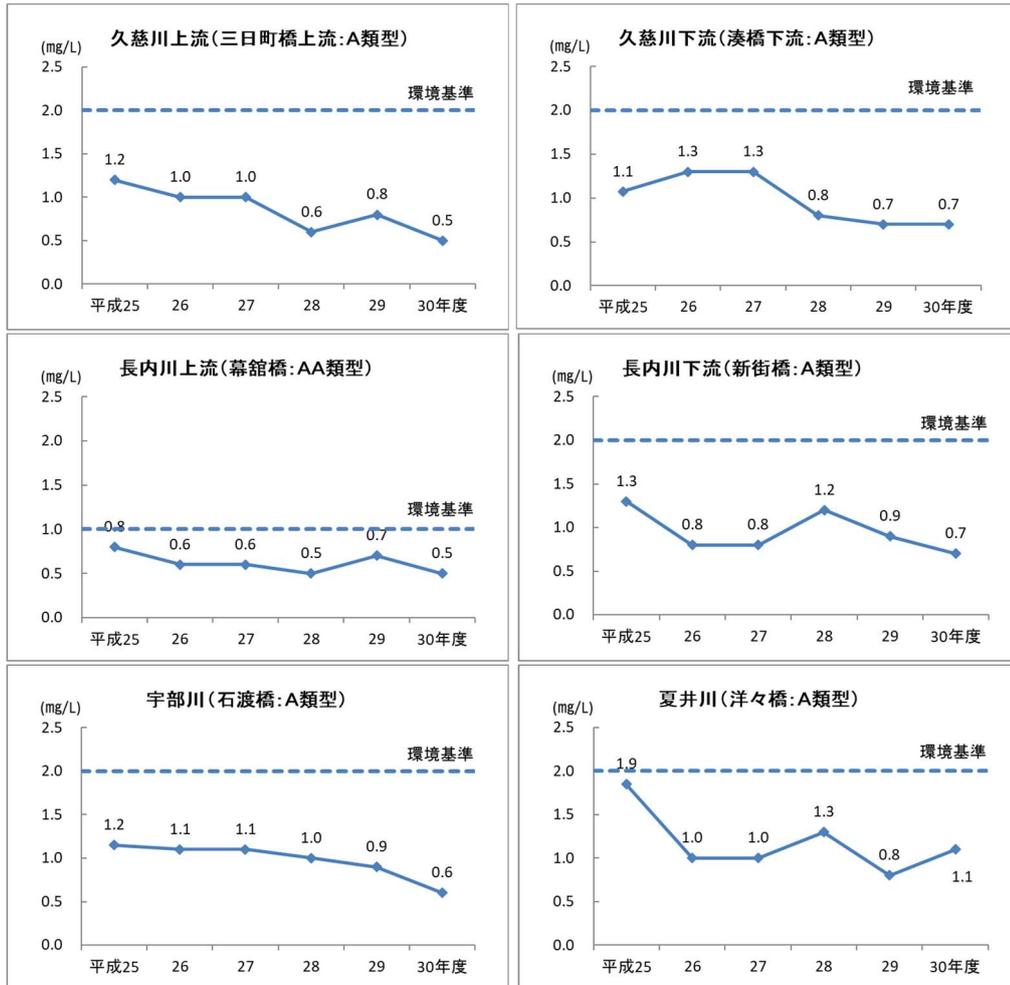
● 現況

河川・海域等の測定結果

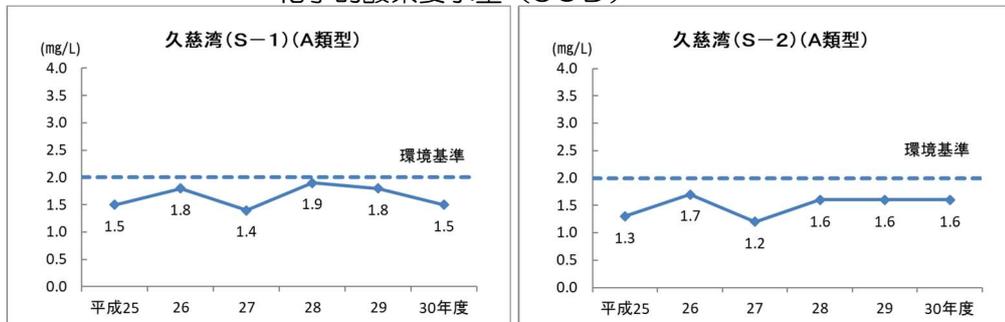
市内の公共用水域等において、定期的に水質測定を行っております。平成30年度の測定結果は、水質汚濁の代表的指標の生物化学的酸素要求量(BOD)[※]は全測定地点で環境基準を達成しており、また海域の化学的酸素要求量(COD)[※]についても全測定地点で環境基準を達成しております。

なお、県が行っている海水浴場水質調査の結果、舟渡海水浴場は「水質AA」となり、病原性大腸菌O-157についても不検出となっております。

生物化学的酸素要求量 (BOD)



化学的酸素要求量 (COD)



資料:岩手県(公共用水域水質測定結果)

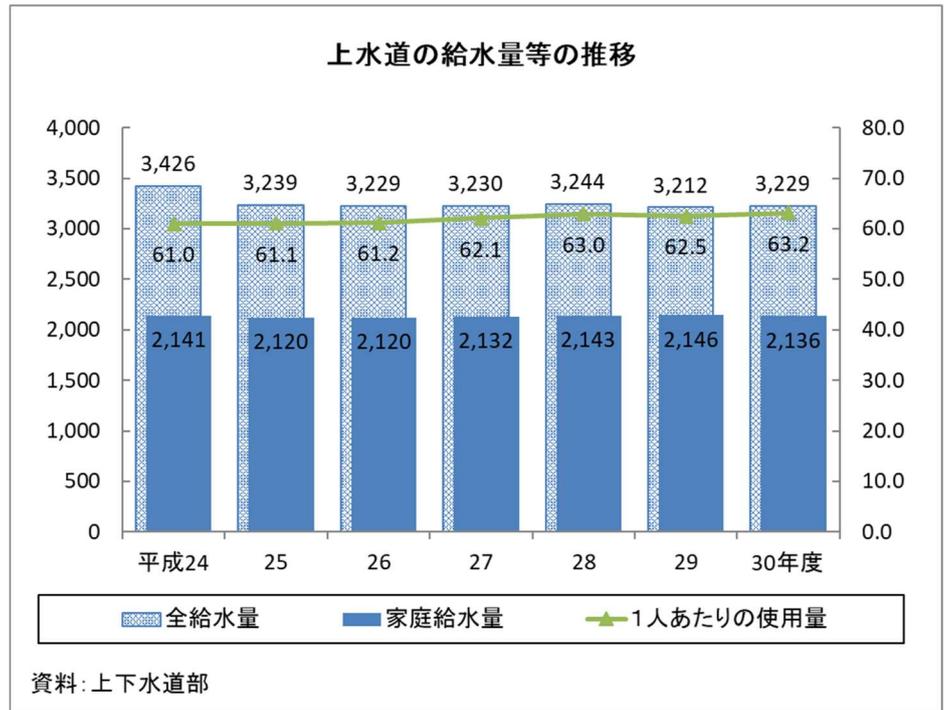
注)河川の値は平均値、海域の値は75%値で算出しております。

上下水道普及状況

【上水道】

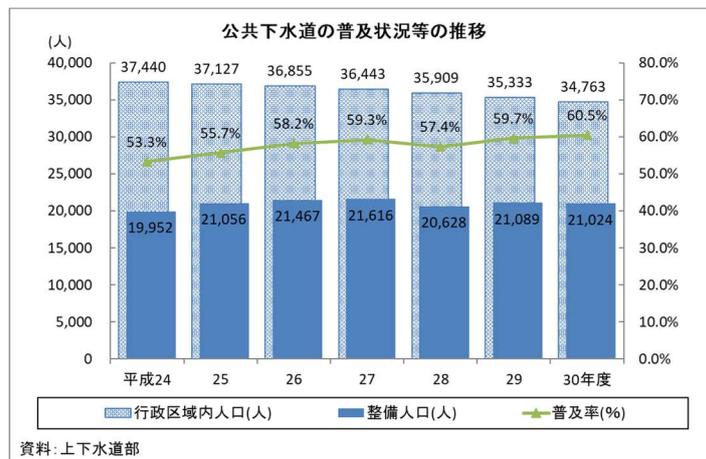
上水道の普及状況は、平成30年度末（平成31年3月末時点）において給水人口が33,812人となっており、総人口34,763人に対する普及率は97.3%に達しています。

平成30年度は、平成29年度と比較し、ほぼ同水準の状況となっています。



【下水道】

市では、水質の汚濁負荷を低減するため、公共下水道や浄化槽*等の污水处理施設の整備を進めているものの、その普及率は60.5%と低い状況にあります。



污水处理施設の普及状況

種類	普及人口
公共下水道	13,648
漁業集落排水	3,098
浄化槽	4,191
農業集落排水	0
コミュニティプラント	87
合計	21,024

平成31年3月31日現在
資料: 上下水道部

(3) 土壌・地下水

● 現況 ●

土壌及び地下水質の測定は岩手県が行っていますが、地下水質の定期モニタリング[※]調査の結果、2地点で環境基準値又は指針値を超過しておりました。

なお、環境基準又は指針値を超過した地点については、久慈保健所において、継続監視並びに必要な応じて指導等を実施しています。

平成30年度 地下水測定結果

調査地点		調査日	調査結果
概況調査	山形町	8月6日	環境基準を達成
継続調査	長内町	9月3日	ふっ素で環境基準値を超過
	中央	9月3日	全マンガンで指針値を超過
	寺里	8月6日	環境基準を達成

資料: 岩手県(地下水質測定結果)

(4) 近隣公害

● 現況

騒音

騒音については、自動車騒音の常時監視や一般騒音の測定を実施しております。

自動車騒音常時監視結果

実施年度	路線名	評価区間番号	始点	終点	車線数	評価区間延長	対象戸数(戸)	昼夜とも基準値以下(戸)	昼のみ基準値以下(戸)	夜のみ基準値以下(戸)	昼夜とも基準値超過(戸)
平成26年度	一般国道395号	12210-1	新井田	夏井町	2	2.4	283	283	0	0	0
平成27年度	主要地方道久慈岩泉線	40160-1	中央	田高	2	0.8	151	132	0	19	0
		40160-2	田高	小久慈町	2	1.8	178	177	0	1	0
平成28年度	一般国道281号	11460-1	八日町	二十八日町	2	0.6	159	159	0	0	0
		11460-2	大沢	八日町	2	1.3	190	190	0	0	0
		11470-1	二十八日町	長内町	2	0.4	172	172	0	0	0
平成29年度	一般国道281号	11480-1	長内町	長内町	2	1.2	234	234	0	0	0
		11480-2	長内町	長内町	2	0.2	9	9	0	0	0
	一般県道久慈停車場線	60340-1	中央	中央	2	0.1	15	15	0	0	0
	一般県道陸中夏井停車場線	60350-1	夏井町	夏井町	2	0.1	15	15	0	0	0
	一般県道野田長内線	62150-1	長内町	長内町	2	0.8	85	85	0	0	0
平成30年度	一般国道45号	11030-1	長内町	長内町	2	0.1	3	3	0	0	0
		11040-1	長内町	長内町	2	0.8	2	2	0	0	0
		11040-2	新井田	新井田	2	0.3	41	41	0	0	0
		11050-1	新井田	旭町	2	0.5	50	50	0	0	0

資料：生活環境課

公害苦情の状況

公害苦情については、年々減少傾向にあります。

区分	総数		大気汚染		水質汚濁		騒音		振動		悪臭		その他	
	苦情	処理	苦情	処理	苦情	処理	苦情	処理	苦情	処理	苦情	処理	苦情	処理
平成15年	17	15	3	3	5	5	2	2	-	-	6	4	1	1
16	10	9	-	-	-	-	1	1	-	-	3	2	6	6
17	15	12	-	-	3	3	-	-	1	1	6	5	5	2
18	16	14	1	1	5	5	1	1	-	-	7	6	2	1
19	11	8	2	2	3	3	1	1	-	-	4	2	1	1
20	11	8	-	-	1	1	2	2	-	-	8	5	-	-
21	16	8	-	-	3	3	2	2	-	-	11	3	-	-
22	13	7	-	-	4	2	-	-	-	-	9	5	-	-
23	4	3	-	-	2	2	-	-	-	-	2	1	-	-
24	8	8	1	1	-	-	1	1	-	-	3	3	3	3
25	10	10	5	5	-	-	-	-	-	-	3	3	2	2
26	12	12	-	-	3	3	3	3	-	-	3	3	3	3
27	7	6	1	1	1	1	2	2	-	-	2	1	1	1
28	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	2
29	9	9	3	3	-	-	1	1	-	-	3	3	2	2
30	3	3	-	-	1	1	-	-	-	-	1	1	1	1

資料：生活環境課

環境保全協定

平成30年度は新たに1件の環境保全協定を締結し、年度末時点での協定の締結総件数は62件となりました。

(5) 有害化学物質(ダイオキシン類)

● 現況 ●

ダイオキシン類^{*}については、岩手県において大気、公共用水域（河川、海域）、地下水及び土壌の汚染状況調査を実施しております。

平成30年度は市内の河川（久慈川、遠別川、夏井川）及び地下水（山形町）で調査を実施し、結果は全て環境基準を下回っています。

また、山形町にあります^{*}2,4,5-T系除草剤埋設地の定期点検を5月と10月に東北森林管理局、県北広域振興局及び市により実施した結果、異常は認められませんでした。

ダイオキシン類測定結果(大気)

調査地点	調査年度	調査結果 (pg-TEQ/L)	環境基準 (pg-TEQ/L)
久慈市湊町	平成26年度	0.0098	0.6以下

ダイオキシン類測定結果(公共用水域)

調査地点		調査年度	調査結果 (pg-TEQ/L)	環境基準 (pg-TEQ/L)
河川	久慈川	平成30年度	湊橋付近(水質)	1以下
			湊橋付近(底質)	150以下
	遠別川	平成30年度	向渡橋付近(水質)	1以下
			向渡橋付近(底質)	150以下
	夏井川	平成30年度	旧夏井橋付近(水質)	1以下
			旧夏井橋付近(底質)	150以下
海域	久慈湾	平成29年度	S-1(水質)	1以下
			S-1(底質)	150以下

ダイオキシン類測定結果(地下水)

調査地点	調査年度	調査結果 (pg-TEQ/L)	環境基準 (pg-TEQ/L)
小久慈町	平成24年度	0.034	1以下
山形町	平成30年度	0.033	1以下

ダイオキシン類測定結果(土壌)

調査地点	調査年度	調査結果 (pg-TEQ/L)	環境基準 (pg-TEQ/L)
中町	平成29年度	5.0	1,000以下
長内町	平成29年度	0.021~2.1	1,000以下

資料: 岩手県(ダイオキシン類環境モニタリング調査結果)

※ 2,4,5-T系除草剤埋設問題

昭和59年、当時の林野庁において、毒性が強いダイオキシンを含む2,4,5-T系除草剤を不適正処分していたことが発覚。全国的な問題となり、久慈市の国有林内にも昭和46年に埋設処分していたことが判明した。

現在は、岩手県及び関係市町村で構成する「2,4,5-T系除草剤埋設地問題連絡協議会」を設置し、撤去を含む恒久対策等について東北森林管理局に対し要望するとともに関係機関による定期点検を実施している。

●
現
況
●

日常生活の中で様々な野生生物を見ることができます。生息状況等のデータに乏しく、近年の動向は十分に把握できていませんが、飛来するカモ、白鳥などが増えています。

【哺乳類】

人里の近くでは、カモシカ、ノウサギ、キツネ、タヌキ等、遠島山や和佐羅比山ではツキノワグマなどの哺乳類の生息が確認されています。

近年はツキノワグマなど野生動物による農業被害が確認されているほか、高い繁殖能力を持つニホンジカの生息が確認されており、今後の農林業被害が懸念されています。

【鳥 類】

久慈川や長内川では、オオハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ等の20種類近くのガンカモ類が確認されています。山野では、ウグイス、キジ、アカゲラやカッコウ等がみられます。また、イヌワシ、クマタカ、ハヤブサ等の猛禽類の生息も確認されています。

【両生類・は虫類】

山形町ではモリアオガエル、宇部川支流（野田村）ではトウホクサンショウウオ、安家川や小本川の上流（岩泉町）ではハコネサンショウウオが確認されています。

【昆虫類】

日本には10万種以上が生息するといわれています。このうち、チョウセンアカシジミ（蝶類）は、久慈市の天然記念物に指定されていますが、その生息数は激減しています。なお、市内に生息する蝶類は、オオムラサキやヒメギフチョウ、ゴマシジミなど100種以上が確認されています。

【魚 類】

サケ、サクラマス（ヤマメ）、アユ、ウグイ等の生息が確認されています。また、絶滅が危惧されている種では、イトヨやスナヤツメ、エゾウグイの生息が確認されています。

(2) 植物

● 現況

植物については、侍浜のアカマツ林やハマハイビャクシン群落、久慈溪流の石灰岩植物が特定植物群落^{*}に指定されているほか、絶滅の危機に瀕している種や絶滅の危機が増大している種に該当する貴重な植物 20 種が生育していると言われていますが、データに乏しい部分があります。

また、国の天然記念物に指定されている長泉寺の大イチョウをはじめとして、市内の 14 本の巨樹・巨木を市の天然記念物に指定し、保全に努めています。

特定植物群落

環境省では、特定植物群落選定基準に基づき、わが国における植物群落の中から特定植物群落を選定し、本市では 7 件が指定されています。

本市の特定植物群落

件名	相観区分	立地区分	標高	面積
侍浜のアカマツ林	常緑針葉高木林植物	一般（気候立地）	160～189m	7.21ha
久慈溪流の石灰岩地植生	岩上多礫地草本植生	石灰岩地	50～150m	50ha
侍浜のハマハイビャクシン群落	冷温帯夏緑広葉高木林	大岩塊上	20m	15ha
安家川源流地帯のブナ林	植生一般冷温帯夏緑広葉高木林	一般（気候立地）	660～1,239m	400ha
安家石灰岩地帯の植生（安家）	岩上多礫地草本植生	石灰岩地	300～700m	100ha
平庭高原のシラカハ林	冷温帯夏緑広葉高木林	褐色森林土	740m	40ha
内間木のコナラ・ミズナラ林	冷温帯夏緑広葉高木林	褐色森林土	440～500m	10ha

資料：日本の重要な植物群落Ⅱ 東北版Ⅰ（昭和63年 環境庁編）

本市の貴重な個体植物

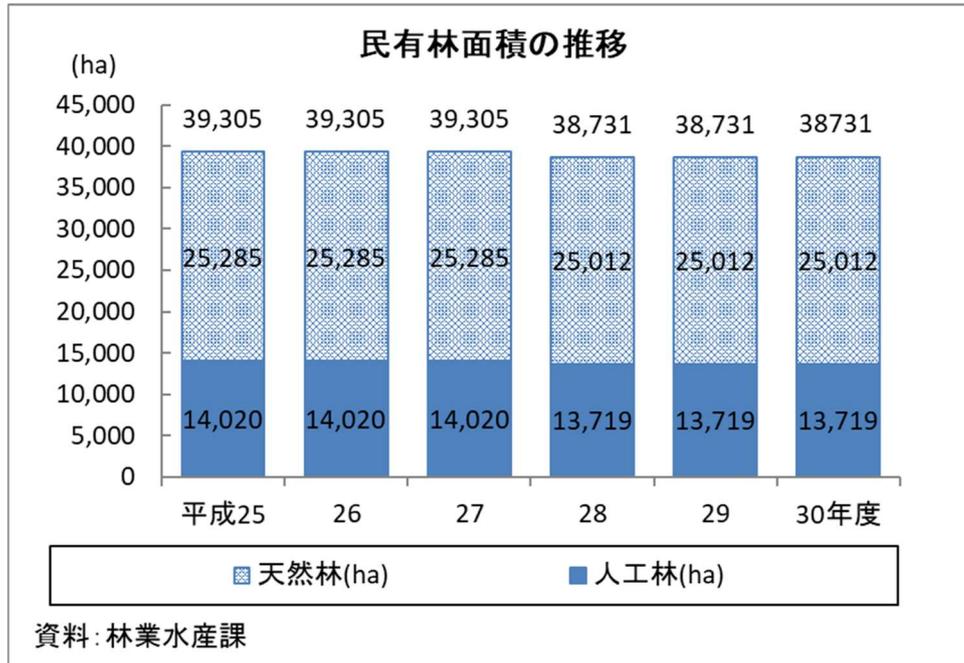
科	種名	科	種名
オシダ科	イワカゲワラビ	ユキノシタ科	ヤブサンザシ
	イワウサギシダ	マメ科	タイツリオウギ
チャセンシダ科	イチョウシダ		ヒロハクサフジ
シノブ科	シノブ	スミレ科	ゲンジスミレ
カバノキ科	チチブミネバリ	アカネ科	オオキヌタソウ
アカザ科	イワアカザ	キキョウ科	ミヨウギシャジン
キンボウゲ科	ニオイカラマツ	キク科	キタノコギリソウ
	チャボカラマツ		イワギク
	マンセンカラマツ		ミチノクヤマタバコ
メギ科	ナンブソウ		ホソバエソノコギリソウ
			リュウノウギク
ケシ科	ツルケマン		カヤツリグサ科
	ヤマキケマン	ホザキヤドリギ	
カエデ科	クロビイタヤ	ヤドリギ科	カワラナデシコ
シソ科	ムシャリンドウ	ナデシコ科	ハナビゼリ
	テイネニガクサ	セリ科	エソノシシウド
ラン科	ヒロハトンボソウ	ヒノキ科	イブキ
オトギリソウ科	エソオトギリ		
アブラナ科	キバナハタザオ		

資料：第7回自然環境保全調査報告書(環境省 生物多様性センター)
いわてレッドデータブック(2014 岩手県)

● 森林の変遷

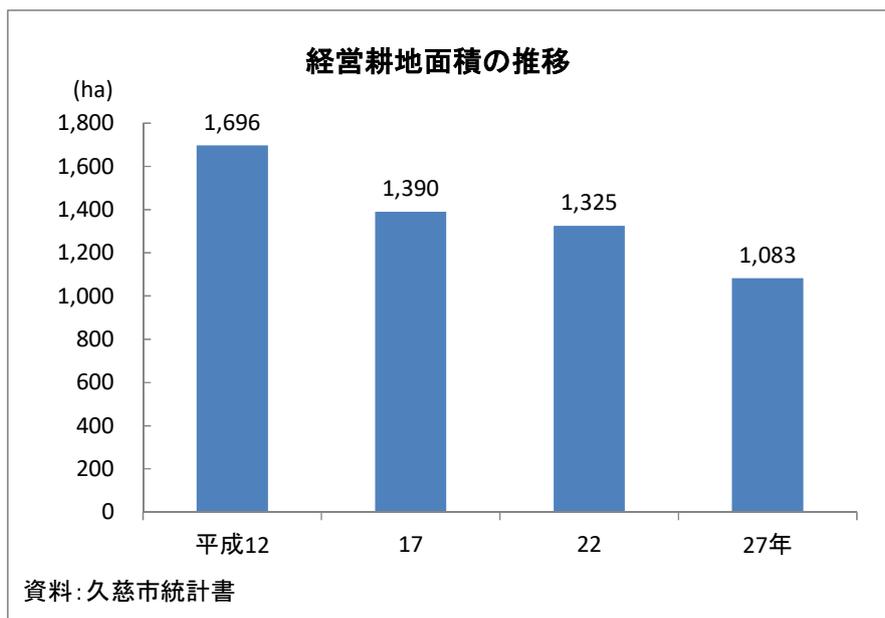
森林面積は市の総面積の約7割を占め、民有林はその7割以上を占めています。

手入れの行き届かない森林の増加が懸念されています。



● 農地の変遷

平成27年の経営耕地面積は1,083haとなっており、農家の減少と比例して減少しています。



水辺地

久慈川や長内川には、ヤマメやアユを釣りに多くの人を訪れます。

また、冬季には、多くのオオハクチョウが飛来し、越冬地としての重要な拠点になっており、河川敷は、気軽に自然にふれることができる環境づくりを進めています。

公園・緑地

本市には、三陸復興国立公園、久慈平庭県立自然公園のほか、都市公園※が近隣公園 2 ヶ所、街区公園 8 ヶ所、都市緑地 1 ヶ所の計 11 ヶ所 15.01ha あります。

平成 27 年度時点の都市計画区域内人口 1 人あたりの都市公園面積は 6.1m^2 となっており、県内平均約 13.9m^2 を下回っていますが、都市公園以外にも港湾緑地※が整備されています。

注 1) 平成 27 年度末における県内平均値は「岩手県の都市計画」より引用しています。

注 2) 港湾緑地は全部で 5.1ha 整備されています（平成 27 年 3 月現在。国交省東北地方整備局）

5 廃棄物等

(1) 廃棄物

● 現況 ●

これまでも、プラスチック製容器包装や雑がみの分別収集や古着回収事業などを実施しておりましたが、平成30年度は「久慈市ごみの分け方・出し方ガイドブック」を作成・全戸配布し、ごみの減量化とリサイクルの推進に努めています。

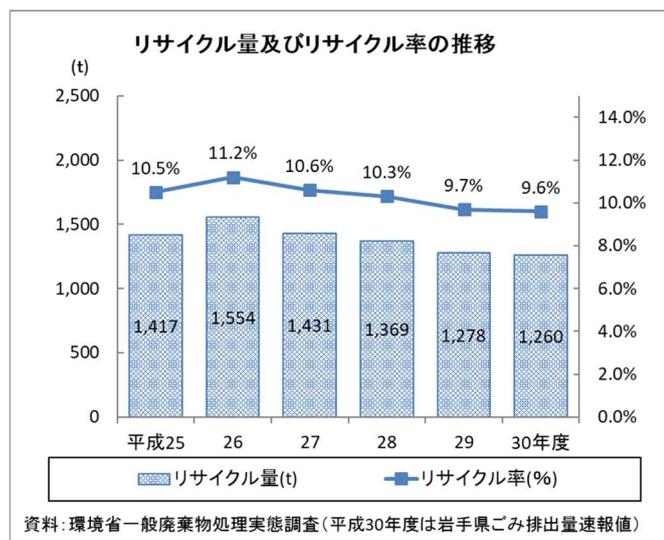
ごみの排出量

平成30年度のごみの年間総排出量は13,107t、市民一人当たりのごみの年間排出量は370kgとなり、前年度と比較し総排出量は減少しましたが、一人当たり年間排出量は増加しました。



ごみの資源化

ごみのリサイクル率※は9.6%となりました。また、市民一人当たりのごみの年間排出量のリサイクル化量※は3.6kgとなりました。



注1) リサイクル率…リサイクル量÷一般廃棄物総排出量×100

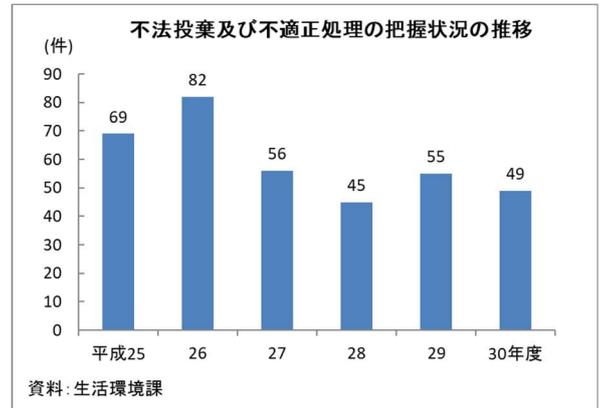
注2) リサイクル化量…分別収集等により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量の合計（市が関与していない集団回収等は把握が困難なことから含まれておりません）

●
現
況

廃棄物の不法投棄・不適正処理の現状

家庭ごみ、家電4品目などの不法投棄や廃棄物の放置が、平成30年度は49件と、前年比6件の増となりました。

今後も、環境パトロール員をはじめとした監視のほか、市民の皆さんからの情報収集に努め、不法投棄の未然防止と早期発見に努めていきます。



(2) 地球環境問題

●
現
況

酸性雨*

本市では、酸性雨（pH5.6以下の雨等降下物）の状況を市役所庁舎屋上で定期的に観測しています。平成30年度の結果はpH6.33で、昨年度と同値でした。

注) 当市の場合、例年1月から2月における降雪の観測を実施しております。



6 参加・協働

(1) 環境情報

● 現況

市では、「久慈市の環境」を作成し、大気汚染や水質汚濁などの状況について毎年度公表しています。また、環境情報は、広報くじや市ホームページに随時掲載し、市民への情報提供を行っています。また、ごみ分別・回収について勉強会を実施するなど、環境に関する知識の向上を図っています。

(2) 環境教育・環境学習

● 現況

現在、市民の間でも環境に対する関心が高くなり、環境教育・環境学習プログラムの充実が求められています。2012年10月には「環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律」が施行され、職場や地域における環境保全活動などの取り組みの実施や、学校教育における体験学習などの充実が図られています。

市では、市職員を講師にした講座を開催する「まちづくり直送便」事業や、ボランティアの市民を講師・指導者とした地域・団体活動の支援を行う「琥珀のまち生涯学習ボランティアバンク」事業を実施しています。また、小・中学校では「総合的な学習の時間」に、環境保全や自然とのふれあいをテーマにした特色ある環境学習が行われています。

行政を通じた事業と主なテーマ（2018年度）

事業	環境に関する主なテーマ
まちづくり直送便	久慈市の生活環境（大気、水環境）
	ごみの分け方・出し方
	森林（もり）のはなし
	三陸ジオパーク（悠久の大地と海とともに生きる）
	自然と遊ぼう！（体験して学ぶ久慈市の自然の素晴らしさを実感する）
	きれいな水環境をみらいへ（下水道の仕組み）
水道のお水はどこからくるの？	
琥珀のまち生涯学習ボランティアバンク	廃油石けん、廃油エコキャンドル作り 環境保護活動、EM 菌の活用法 郷土料理（まめぶ）
	大気汚染防止 温暖化防止 気象講演 やさしい気象学 久慈地方気象情報
	森林について学ぶ 野外活動

(3) 自然体験活動、環境活動

● 現 況 ●

市民団体等が行っている環境活動に対する、助言・指導、事業活動費の補助による支援や、自然環境観察会や環境講座等を開催し、市民参加型の幅広い環境活動の機会作りに取り組んでいます。

また、市民団体や学校教育、社会教育活動の一環として、自然体験活動がプログラムに取り入れられ、積極的に推進されています。

市では、市民総出の「早朝 1 時間清掃」や、小・中学生を中心とした「530（ごみゼロ）運動」などを実施しており、市民が自発的に環境活動に取り組む姿がみられます。

